

宇部工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	経済学Ⅱ
科目基礎情報					
科目番号	55006	科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	経営情報学科	対象学年	5		
開設期	1st-Q	週時間数	4		
教科書/教材	飯田幸裕、岩田幸訓「入門経済学」創生社				
担当教員	岸川 善紀				
到達目標					
(1) 国民経済計算、GDPなどの概念を理解でき、財市場での均衡国民所得が導き出せる (2) 財市場、貨幣市場の同時的均衡条件を理解でき、財政政策や金融政策の効果について説明できる (3) 財、貨幣、労働市場の同時的均衡条件について理解でき、物価水準がどのように関係しているか理解できる (4) 開放経済下での国民所得、国際収支について理解できる					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安 (可)	未到達レベルの目安	
評価項目1	IS曲線導出のための諸関数について説明でき、IS曲線導出の過程を説明できる	財市場での均衡条件に基づき均衡国民所得がどのように決まるか説明できる	国民経済計算やGDPの概念を理解し、説明できる	国民経済計算やGDPの概念を理解するための各用語について説明が十分にできない	
評価項目2	LM曲線導出のための諸関数について説明でき、LM曲線導出の過程を説明できる	財政政策、金融政策がどのように効果を発揮するか理解し、説明できる	IS-LM分析により、均衡国民所得を導出する過程を説明できる	IS-LM分析で均衡国民所得を導出する過程を説明できない	
評価項目3	インフレーション、デフレーションなどの経済の諸問題の特徴を理解し説明できる	総需要-総供給分析による均衡条件を図を用いることで説明できる。物価水準との関わりが分かる	労働市場の特徴について、通常の財市場との比較から違いを説明できる	マクロ経済を構成する諸市場について其々の特徴を理解できない	
評価項目4	変動相場制による国際収支への影響を理解し説明できる	変動相場制の特徴を理解し説明できる	諸外国が取引をすることによる利点を比較優位の考えから理解できる	比較優位の概念を理解できず、2国2財モデルでの問題の解き方を理解できない	
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	第1学期に開講する科目である。本講義では、マクロ経済学について学ぶ。				
授業の進め方・方法	講義形式で授業を行う。授業はテキストのみならず配布の資料を用いて行うが、用語の理解を早めるために該当するテキストの範囲を予習することを求める。演習問題では数式を使った問題を中心に行う。レポートでは、提出要件に従った適切な形式になっているか提出前の自己点検を求める。				
注意点	経済学Ⅰ、Ⅱで行うミクロ経済学、マクロ経済学は経済活動をモデルとして捉え、現実の経済がどのようになっているかその状態を見るための道具となるものです。その考え方をなるべく適切に説明するために理解が難しい用語を用います。また数式を使ったモデルが出てきますので、文理両方の力を鍛えてください。 ***** 到達目標①：IS曲線の導出は試験ならびにレポートで評価する(25%) 到達目標②：LM曲線の導出は試験ならびにレポートで評価する(20%) 到達目標③：IS-LM分析ならびにAD-AS分析は試験ならびにレポートで評価する(30%) 到達目標④：開放経済下での国民所得、国際収支は試験ならびにレポートで評価する(25%)				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス 国民経済とGDP①	マクロ経済学の視座について説明を聞き、その全体像を理解できる マクロ経済の主要な経済主体（企業、家計、政府）の役割と経済的価値に関する諸概念が理解できる	
		2週	国民経済とGDP② 財市場の均衡①	三面等価の原則、国民所得などの概念が理解できる 消費関数、貯蓄関数などを理解し、経済循環の基本が理解できる	
		3週	財市場の均衡② 財市場の均衡③	財市場における均衡国民所得の決定について理解できる IS曲線の導出過程について理解できる	
		4週	貨幣市場① 貨幣市場②	貨幣市場について理解でき、貨幣の需要、貨幣の機能について理解できる 貨幣市場の均衡について理解できLM曲線を導出できる	
		5週	IS-LM分析 金融政策と財政政策	IS-LM分析より、財市場と貨幣市場の同時的均衡の導出過程について理解できる 金融政策、財政政策の効果について理解できる	
		6週	AD-AS分析① AD-AS分析②	総需要曲線について理解できる、労働市場の均衡条件について理解できる 総供給曲線の導出過程について理解できる	
		7週	AD-AS分析③ 開放経済における国際収支	物価の水準、フィリップス曲線などについて理解でき、インフレーション、デフレーションの諸概念が理解できる 開放経済における国際収支に関する諸概念、知識について理解できる	
		8週	定期試験 まとめ	試験を行う 本講義のまとめを行う	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
専門的能力	分野別の専門工学	経済・ビジネス系分野	経済	市場均衡について説明できる。	3		
				国民経済計算について説明できる。	4		
				4 5 度線分析について説明できる。	4		
				IS-LM分析について説明できる。	4		
				総需要・総供給分析について説明できる。	4		
				国際経済について説明できる。	4		
				経済成長論について説明できる。	4		
評価割合							
	試験	レポート	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	30	0	0	0	0	100
知識の基本的な理解【知識・記憶、理解レベル】	50	10	0	0	0	0	60
思考・推論・創造への適用力【適用、分析レベル】	20	20	0	0	0	0	40
	0	0	0	0	0	0	0